

兵庫県立氷上西高等学校が創立 50 周年を迎えられました。

11月7日（金）

この度、兵庫県立氷上西高等学校が創立50周年を迎えられましたこと、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。兵庫県立氷上西高等学校と丹波市立青垣中学校は中高の教育をスムーズに継続することで、ゆとりのある学校生活の中で生徒の個性や創造性を伸ばすことを目指した「連携型中高一貫教育校」としての取り組みを平成24年4月にスタートしました。教育課程編成や教職員・生徒間交流等の連携を推進することにより、中高の円滑な接続及び両校の活性化を図ることを目的としています。また、青垣中学校運営協議会に、氷上西高等学校の学校長ならびにPTA会長に委員として参画してもらっています。学校行事での取り組みとしては体育大会や文化祭に相互に参加することで連携を深めています。高校生が中学校の体育大会で補助役員として参加し、中学生もまた高校の体育祭の補助役員として、お互いの体育大会を盛り上げています。中学校の文化祭では高校生が太鼓やダンスを披露したり、高校の文化祭では小・中学生の授業や部活動での作品を展示発表したりして交流を深め、お互いにいい刺激を受けているように思います。青垣地域は、近年、少子化がさらに進んでおり、園小中高における活動集団も縮小し、児童生徒の人間関係の固定化が強まっている傾向が伺えます。そのため、自己実現を図る意欲の向上や自己と他者との人間関係形成能力の育成が年々難しくなっています。一方、推進地域としての強みは、これまで培ってきた園小中高と地域との連携力です。青垣地域内に園、小、中、高が1校ずつであることを「連携のしやすさ」という強みとして、時間をかけてお互いが「見える関係」を築き、「つながる」ことで、青垣地域に見守られながら連続する学びや体験を積み重ね、今後どのような資質・能力を園児児童生徒に身に付けさせていくのか、そのためにどのような教育課程を編成するのかといったことを確かめ合いながら、取り組みを強化していきたいと考えています。最後になりましたが、今後も「輝く地域の星となれ～一人一人が主人公～」の学校スローガンのもと、地域から愛され、地域から信頼される兵庫県立氷上西高等学校であり続け、ますます発展されることを心より祈念いたします。 ～「創立50周年記念誌」刊行に寄せてより～

